

但馬県民局では、「『交流・共生』の地域（あしたのふるさと）」を目指し、自然災害に「備える」、日々の暮らしを「支える」、次世代に持続的な発展を「つなぐ」の視点のもと、道路や河川などの社会基盤整備を進めています。

ここでは、但馬県民局のなかでも、養父市・朝来市を管轄している養父土木事務所が行っている主な事業を紹介します。

また、養父土木事務所ではFacebookを活用し、ここに掲載した事業以外にも、地域に密着したさまざまな情報を発信しています。ぜひフォローをお願いします。

「養父土木事務所Facebook」
<https://www.facebook.com/yabudoboku>

① (主) 養父中央線 道路防災工事

■ 土砂崩れから道路を守ります。

土砂崩れに対して、道路利用者の安全安心を確保するため、道路防災対策を進めています。

本工事では土砂崩れを防止するため、金属製のアンカーを斜面に打ち込む工事を進めています。



② 八鹿町宿南地区の浸水対策

■ 安心安全な暮らしを確保します。

養父市八鹿町宿南地区では、これまで度々甚大な洪水被害が発生してきたことから、『但馬（円山川等）地域総合治水推進計画』におけるモデル地区として総合治水の取り組みを進めています。円山川からの逆流による洪水を防ぐための工事を実施し、平成29年に完成しました。

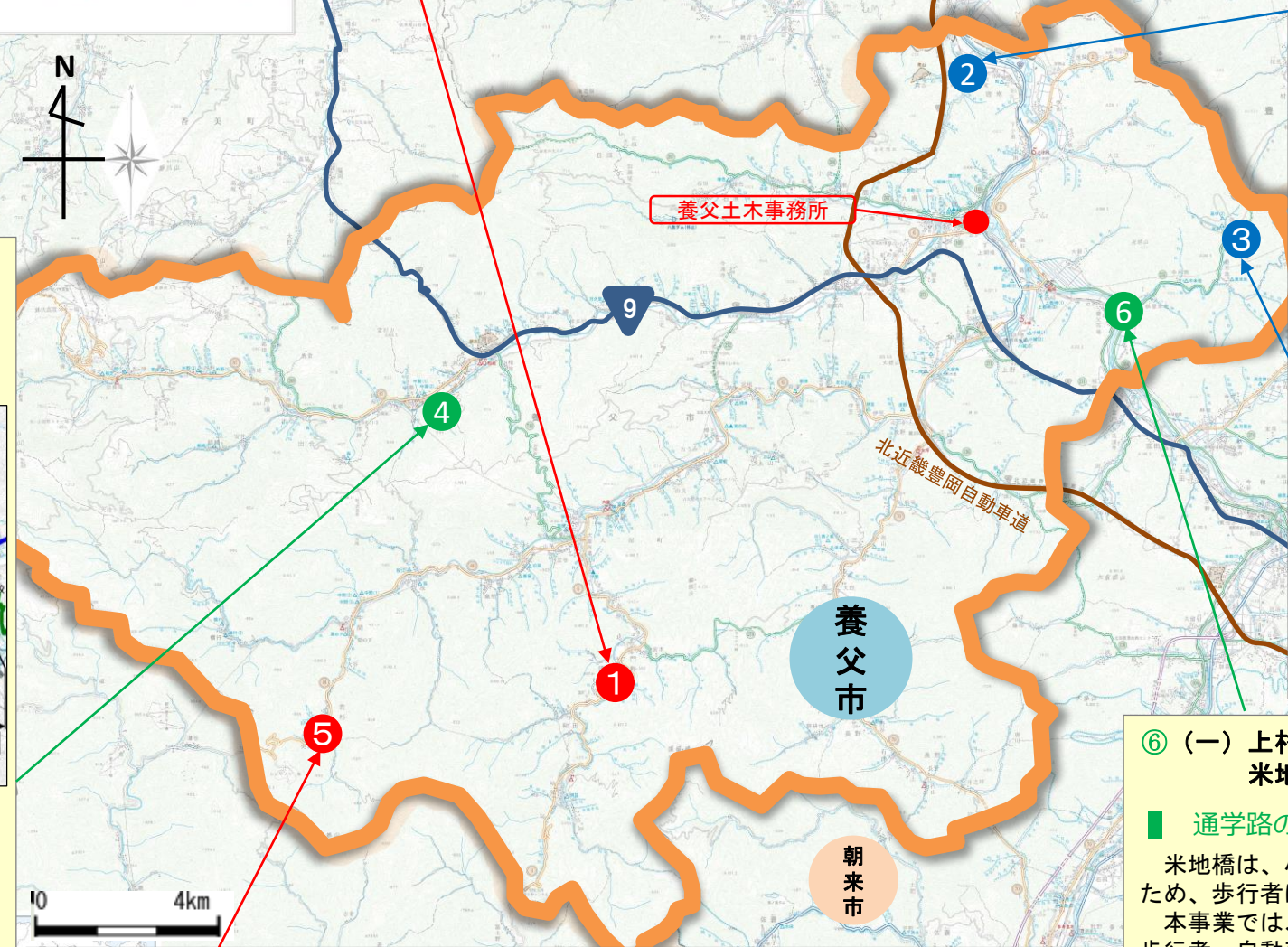


③ 高中川 砂防えん堤の整備

■ 土石流からまちを守ります。

土石流危険渓流である高中川は、その下流域に奥米地地区の集落や道路を抱えています。住民の生命や財産等を保全するため、砂防事業を実施しました。

その他の地域についても、『第3次山地防災・土砂災害対策計画』に基づき、順次事業を進めています。



④ (主) 関宮小代線 吉井バイパスの整備

■ 安全で円滑な交通を確保します。



バイパス整備を行うことにより、関宮地域の生活道路である現道の通過交通をバイパスにより迂回させ、歩行者の安全性を確保します。

さらに、スキーや自然学校等で四季を通じて大型バスが往来する養父市最大の観光拠点であるハチ高原・氷ノ山へのアクセス性を強化します。



⑤ (主) 大屋波賀線 雪崩予防柵設置工事

■ 雪崩から道路を守ります。

雪崩から道路利用者を守り、冬季の安全な交通を確保するため、雪崩対策を進めています。(主)大屋波賀線では過去に雪崩が発生したことを踏まえ、雪崩の危険性が高い3箇所について、雪崩予防柵の設置を行っています。



⑥ (一) 上村養父停車場線 米地橋 橋側歩道橋の整備

■ 通学路の安全性が向上します。

米地橋は、小学校の通学路となっていますが、歩道がないため、歩行者にとって危険な状態です。

本事業では、歩道橋を新たに設置する他、耐震補強を行い、歩行者・自動車の安全性を確保します。

